

「言葉の力」

みなさん、通信の第14号を読みましたか。今回も非常に大切なことが書いてありましたね。

先生も同じように、言葉の力はすごいと感じています。言葉は、時には人をやさしい気持ちにしたり、時には人を感動させたり、時には人を怒らせたり、時には人を悲しませたり、色々な表情を見せます。だからこそ「言葉」を扱うのは難しいです。特に日本語は難しいなと、いつも感じます。今後「言葉」をどのように扱っていいのか、みなさんにとって非常に大切になります。

ここからは先生の考えになりますが、「病は気から」という言葉があるように、人は思い込むことによって、その後の成長や様子が変わってくると感じています。思い込むために必要になってくるのが「言葉」です。「言葉」は、聞くこともあれば、目にすることもあります。その「言葉」を受けて、気持ちが変化したり、結果が変わったりしていると思います。だから、「言葉」は大切だと感じます。

では、みなさんが一番聞いている言葉は、誰の言葉か知っていますか。そうですね。みなさん自身の口から出る「言葉」なんです。だから、普段からみなさんが使っている言葉、話し方がすごく重要になってきます。意識していないかもしれませんが、日々みなさん自身から出る言葉を聞いて、心や体は成長し、変化しています。

もう一度、自分の言葉遣い、話し方を振り返ってみてほしいなと思います。それが、あなた自身の成長に必ず変化をもたらします。

休校が明けたら、みなさんはクラスの仲間に、先生たちに何と声をかけますか。休校明け、先生の口から出る「言葉」、楽しみにしててくださいね。

1年1組担任より